

# BURST

[バースト]

金原ひとみ芥川賞受賞作

「蛇とピアス」の

モチーフになった

「スプリット・タン」はこれだ!

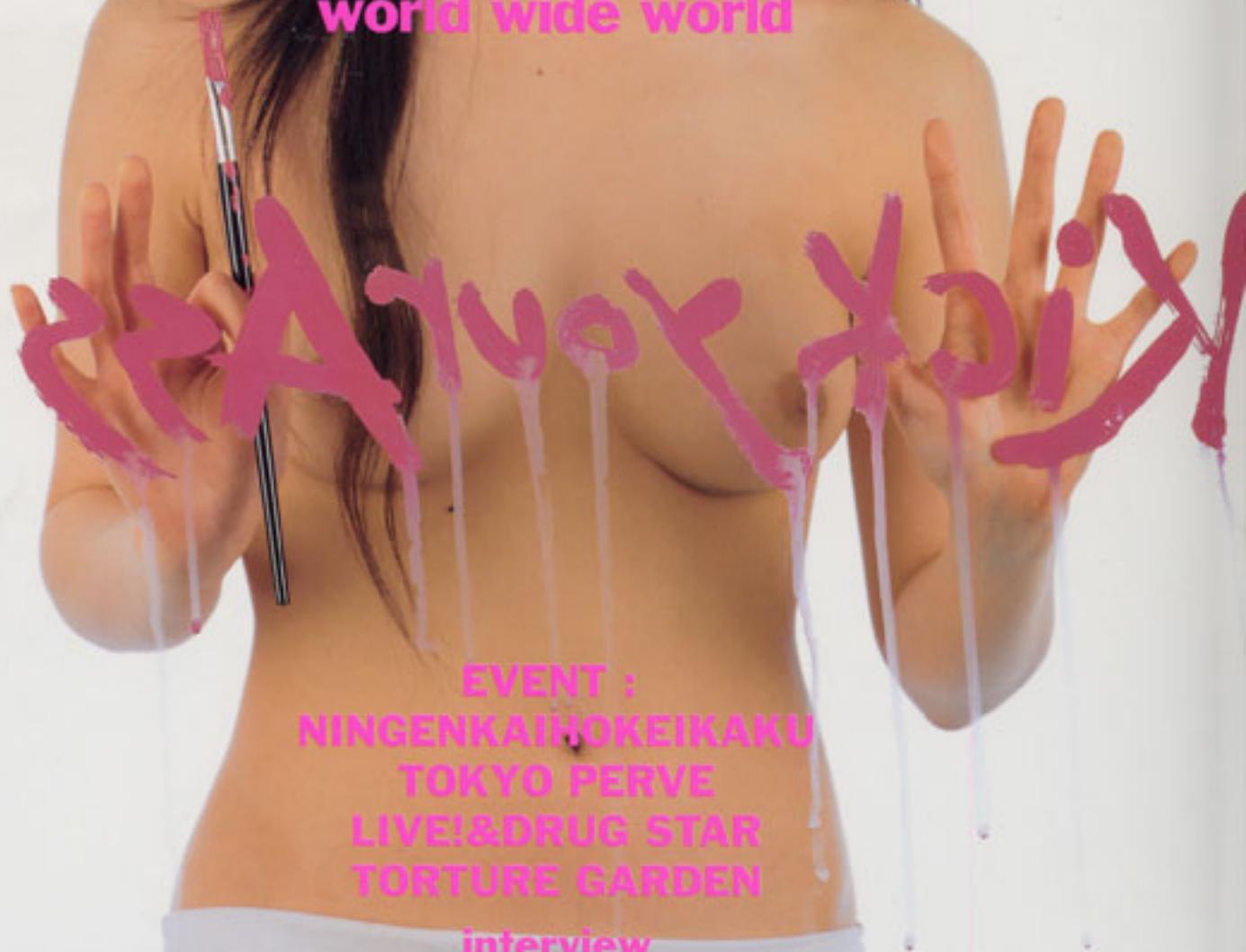
5

May 2004 vol.77

Price 900 Yen

# S&M

world wide world



EVENT :  
NINGENKAIHOKEIKAKU  
TOKYO PERVE  
LIVE!&DRUG STAR  
TORTURE GARDEN

interview  
MISTRESS AMRITA  
COSPLAYER KOE



# 今年8月「焼印祭り」in JAPAN

## STRIKE BRANDING SPECIALIST : BLAIR

### ストライク・ブランディングの達人ブレア氏が来日!! ジュージューする絶好のチャンス到来だ!!



#### 焼印のスペシャリスト、ブレア氏



◆ブレア氏は、BMEの本拠地カナダ、トロントの人気ピアス店「パッサージ」でプロのピアッサーとして活躍すると同時に、焼いた金型を押し当てる「ストライク・ブランディング」の達人として国際的に高い評価を得ている。そんな彼が現在今年8月に来日を予定。



昨年の「モトココンプレックス (日本橋区)」出版以降、ますます実践的に改造にかかわる愛好者たちが増えてきている。すでに、インプラントの開発者スティーブ氏、医療用メスの魔術師ルーカス氏が来日を果たし、日本で素晴らしい改造テクニクを披露してくれているが、彼らに続き、焼印の達人ブレア氏が来日を予定している。

ブレア氏は、トロントでプロのピアッサーとして活躍すると同時に、ブランディング (焼印) のテクニクを極め、傷跡で因柄を刻むボディアートを探究している。また、彼は、スプリット・タンにおいても、舌をメスで切ったあとに切斷面を焼いて癒着を防ぐ方法を採用しており、プロのピアッサーとしての立場を貫きながら身体改造にアプローチしている点において、先鋭的な身体改造アーティストを目指すルーカス氏やスティーブ氏とは異なるスタンスで、身体改造の普及と発展に寄与している人物だ。



#### ブレア氏の カッティング 作品

◆ブレア氏は、焼印ばかりでなく、医療用メスを使ったカッティングも手掛ける。「治癒したときに傷跡を「太く」したいときは「ブランディング (焼印)」、「細く」したいときは「カッティング」を用いる」という。



●ブレア氏による金型を用いた焼印の作品。プロのピアッサーとしても活躍するブレア氏は、単純な因柄でも身体全体を考慮して絶妙なバランスでは上げている。



●熱したバーベルのボール部分で切断面を焼きつけていった。

## 切断面を焼くスプリット・タン



◆ブレア氏のスプリット・タンは、舌を切り裂いたのちに止血と癒着防止のために切断面を焼きつけるのがポイント。舌のピアスを2ゲージで拡張した上で、まっすぐの針子2本で舌の中央を挟み、その間をメスで切って、バーナーで熱したバーベルで切断面を焼きつけるのだ。



## タン・フレネクトミー (舌の裏筋切除)

◆スプリット・タンでより長く舌を切り裂くために行う改造。舌の裏筋を針子で挟み、その上下をメスで切って、裏筋を切除。舌のピアスはそれから一週間後、ジュエリーは長めのバーベルを使用、8ゲージのニードルで開けて、8ゲージのピアスを通す。半年間で2ゲージまで拡張すれば、スプリット可能に。

